

令和5年度 風の子保育園 事業計画

風の子保育園のめざすもの（運営理念）

①子ども達が自然の中でのびのび育つことのできる保育園

集団の中で一人一人が大切にされ、自主性と社会性を身につけ豊かな感情と思考力の発達をめざした保育を！

②産休明けから就学まで、年齢・障害・保育時間を問わず、保育を必要とする子ども・保護者の立場にたった保育の創造をめざそう！

③父母・職員・後援会・地域住民がひとつになって、皆でつくり皆で育て地域から愛される保育園に！

④子ども・父母・職員の立場を大切に、皆の財産である保育園を民主的に運営しよう！

⑤保育をめぐる様々な要求を大切に、その一つ一つを子どもと保育を必要とする父母の立場に立って、実現できるよう保育運動を発展させよう！

【 園内体制 】

4月の園児全体数は100人です。0歳児は、在園児の兄弟5名からのスタートです。1歳児は新入園児6名が入園し、16名で定員となり今年度、1歳児の申し込みが多いことは、4月から始まる静岡市独自の完全第2子無償化が影響しているようです。しかし、少子化の影響は大きく、他園の状況を聞いても定員割れをしている所が多いようです。特に2歳児、3歳児の入園希望数は少なく、今年度も2歳児3名、3歳児1名です。このことは、幼稚園が幼保連携型こども園化に移行していることと、2歳児の満3歳の誕生日から無償化のため入園が多いことが原因のひとつだと思います。保育園児は、満3歳になっても3月31日までの間の利用者負担額は3歳未満児(3号認定児童)と同額となります。2歳児の定員割れは、そのまま幼児の定員割れへと繋がっています。第2子無償化がどのように保育園への入園に反映されるかはまだわかりませんが、0歳児、1歳児の定員枠を広げるのか、園全体の定員を減らすのか、今後の保育園の経営、運営の検討が必要になってくると思います。未来の風の子保育園を見据えたうえで、考えていくことが課題です。職員の新規採用では、今年度保育士1名と、高齢者雇用の清掃職員1名の2名採用が決定しました。しかし、6月から産休職員がいることと、1歳児が4月から定員になったため保育士1名(臨時職員)が必要となりました。4月からの確保を考えています。

【 保育 】

2022年度の総括を終えて今一度、風の子の保育を見直す時だと思えます。職員の入れ替わりがある中、改めて『風の子のめざす子ども像』がどういうことなのかを職員で学び合い共通理解としたうえで、保育実践へ繋げていくことです。風の子の目指す5歳児の姿にむけて、土台となる乳児保育において子どもの育ちの中で、何を積み重ねていくことが必要なのか、幼児保育に足りないことは何かを、子どもの姿から職員一人ひとりが立ち止まって考えて保育していくことをおこなっていきたいと思えます。

子どもの姿から、「なぜ?」「どうしたかったのか?」「だからどうする?」を保育の中で繰り返し、子どもを捉え、理解することで保育士として適切な対応へと繋がっていくと思えます。この2年間積み重ねている、『子どもにとって』に立ち戻りながら、子どもを捉える、理解することはどういうことなのか、事例検討から職員で話し合い、深めていきたいと思えます。

そして、子どもを捉え、理解したうえで保護者支援を行っていきたいと思えます。そのためにも、私たち職員の専門性を高めていきたいと思えます。職員一人ひとりが気づき合い、学び合い、認め合いの精神で職員の連携を深めながら、保育を創っていきたいと思えます。

【 静岡市の保育情勢 】

静岡市は、しずおかハグくむ子育てプロジェクト(愛称：しずハグ)を来年度から8年間の政策を打ち出しています。子ども・若者・子育て家庭を静岡みんなで支える2つの安心(①ハグくむ子育ての安心②ハグくまれる子育ての安心)を掲げています。その中の、ひとつに経済的支援として、所得制限なく「第2子保育料の完全無償化」を打ち出しています。この総合計画は他の予算を減らさず実施すると言われています。補助金等も、昨年度と変わらないようです。しかし、補助金制度が変わっていく中で補助金の出し方が複雑になっているため、見落としがないようにきちんと理解することが必要だと思えます。

【 職員給与 】

職員の給与については、2号俸の昇給と、2年計画の若手職員の給与調整を、今年度もおこなっていきたいと思えます。また、処遇改善Ⅱの対象者の幅を広げていくことと処遇改善Ⅲとの兼ね合いをかみした上で手当として支給していきたいと考えています。

事業計画案

令和5年度保育体制

歳児	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	12	16	20	24	24	24	120人
4月園児数	5	16	16	20	19	24	100人
保育士	3+1	4	3	2	2	2	27人
	全体フリー1 (6月下旬～産休)						
職員数	園長(1) 事務長(1) 主任(1) 給食(2) 事務(1) 地域パート(1) 朝パート(1) 給食補助(1) 清掃(2)						

【具体的な取り組み】

1. 保育

- (1) 子ども一人ひとりの発達を保障し、子ども理解を深めていく
 - ・ 0,1歳児保育の連携を考えた柔軟な保育をしていく
- (2) 保護者と共に
 - ・ 子どもの姿を丁寧に伝え、保護者支援をしていく
 - ・ 園と父母の会との連携の中で、園行事や父母の会活動を進めていく
- (3) 職員一人ひとりの専門性を高めると共に、実践へと活かしていく
 - ・ 園内研修の充実
 - ① 『風の子の目指す子ども像』、『歳児の発達』を職員の共通理解にしていく
 - ② 子どもを捉える、子どもへの適切な対応とは・・・事例検討から考えていく

2. 経営

- (1) 職員の給与改善
 - ・ 若手職員の給与の調整
 - ・ 処遇改善Ⅱは、職員の職務職責を明確にし、対象者を拡大していく
 - ・ 処遇改善Ⅲは、処遇改善Ⅱとの調整の中で金額を決め、手当として支給していく
- (2) 園児数の定員割れの状況を分析していく
 - ・ 今後の定員数の検討をしていく
- (3) 50周年(2027年)に向けて
 - ・ 未来検討会で企画を考えていく
- (4) 検討課題
 - ・ 保育園前の田んぼの活用を考えていく
 - ・ ホームページ
 - ・ LED化